

主日礼拝

2025 年 10 月 05 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」

(エフェソの信徒への手紙 5:1, 2)

頌栄 26「グロリア」



信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

賛美 9-1,3「わが身にたまひし」



1 わが身にたまひし 神のめぐみ、 3 かぎりなきめぐみ 日ごとたたえん。
ゆびおりかぞえて 神をたたえん。 よろこびにみつる ころろつきず。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 39-5 (2 回)「ハレルヤ」



聖書 マタイによる福音書 19:13~30

新約(新共同訳)P37~P38

13 そのとき、イエスに手を置いて祈っていたために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。14 しかし、イエスは言われた。「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」15 そして、子供たちに手を置いてから、そこを立ち去られた。16 さて、一人の男がイエスに近寄って来て言った。「先生、永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか。」17 イエスは言われた。「なぜ、善いことについて、わたしに尋ねるのか。善い方はおひとりである。もし命を得たいのなら、掟を守りなさい。」18 男が「どの掟ですか」と尋ねると、イエスは言われた。「『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、19 父母を敬え、また、隣人を自分のように愛しなさい。』」20 そこで、この青年は言った。「そういうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでしょうか。」21 イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」22 青年はこの言葉を聞き、悲しみながら立ち去った。たくさんの財産を持っていたからである。

23 イエスは弟子たちに言われた。「はっきり言うておく。金持ちが天の国に入るのは難しい。24 重ねて言うが、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「それでは、だれが救われるのだろうか」と言った。26 イエスは彼らを見つめて、「それは人間にできることではないが、神は何でもできる」と言われた。27 すると、ペトロがイエスに言った。「このとおり、わたしたちは何もかも捨ててあなたに従って参りました。では、わたしたちは何をいただけるのでしょうか。」28 イエスは一同に言われた。「はっきり言うておく。新しい世界になり、人の子が栄光の座に座るとき、あなたがたも、わたしに従って来たのだから、十二の座に座ってイスラエルの十二部族を治めることになる。29 わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子供、畑を捨てた者は皆、その百倍もの報いを受け、永遠の命を受け継ぐ。30 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になる。」

賛美 413 「キリストの腕は」

When Christ was lifted from the earth
詞：Brian Wren, 1936—
ST. BOTOLPH
曲：Gordon Slater, 1896—1979

1 キ リ ス ト の う - で は く
2 と し う さ ゅ う の な ん - だ ぼ り
3 セ そ だ い や ん だ - た く
4 キ リ ス ト に ぞ な - ら い
5
地 の は て - ま で。ぶ ん か も - う
ひ と つ と な る。き、と も し - て の
か か べ た し た ち も ち が い を - よ
ま - れ い も - す べ て て こ - え ぶ。
ま - ね き - あ い け れ - る 主。
ま - こ に - う け れ - る 主。
ろ - こ び - お う。

- 1 キリストの腕は 地のはてまで。 3 思想や隔たり 関わりなく、
文化も生まれも すべて超えて。 とも 友として招き、愛される主。
- 2 東西南北 ひとつとなる。 4 世代、民族の 壁を砕き、
キリストの愛は すべてむすぶ。 人をそのままに 受け入れる主。
- 5 キリストにならい 私たちも
違いをよこび 受け入れ合おう。

説教 「イエスのまなざしは」

聖餐式 81 「主の食卓を囲み」

(配餐前 1,2 節、後 3 節)

詞：新編聖歌、1936— MARANA THA
曲：新編聖歌、1936—

1 主のよきたまを か こ - み、 いのちのパンをい た だき、
2 主のじゅうじかをお も - い、 主のふつかつを た - え、
3 上のよびかけに こ た - え、 主のみことばにし た がい、
すくいのさかず きを のみ、主にあつてわれらはひ と - つ。
主のみにをま ちの ぞみ、主にあつてわれらはい き - る。
あいのいぶきに み た され、主にあつてわれらはあ ゆ - む。
(くりかえし)
マ ラ ナ タ、 マ ラ ナ タ、主の みくにがき ますように。
マ ラ ナ タ、 マ ラ ナ タ、主の みくにがき ますように。

賛美 197 「ああ主のひとみ」

詞：井原利男、1926—、梅田信治、1922—1976 SHU NO HITOMI
曲：高田早穂見、1926—

ああ主の - ひ - とみ、 ま - な ざ - し - よ、
き - よ き み ま え を さ - り ゆ き し -
と め る わ こ う ど み つ め つ つ -、
な げ く は た - れ ぞ、 主 - な ら ず や -。

- 1 ああ主のひとみ、まなざしよ、 3 ああ主のひとみ、まなざしよ、
きよきみまえを 去りゆきし うたがいまどう トマスにも、
富める若人 見つめつつ、 み傷しめして「信ぜよ」と、
なげくはたれぞ、主ならずや。 招くはたれぞ、主ならずや。
- 2 ああ主のひとみ、まなざしよ、 4 きのもきょうも かわりなく、
三たびわが主を いなみたる 血しおしたたる み手をのべ、
よわきペトロを かえりみて、 「友よかえれ」と まねきつつ
ゆるすはたれぞ、主ならずや。 待てるはたれぞ、主ならずや。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

ア - メ ン。 ア - メ ン。 ア - メ ン。

後奏

司 式：袁 紅
説 教：向井 希夫牧師
奏 楽：高橋 孝子
助 餐：大代 恵、玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。